

# 独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第34号

令和6年1月15日発行

今年もよろしくお願いします

3学期がスタートして1週間が経ちました。始業式では校長先生から、映画「ウィッシュ」を例に出しながら「願いは人に託すものでなく自分で叶えるもの」というお話をいただきました。みんな「今年は頑張るぞ!」と思ったのではないのでしょうか。そこで新年の意気込みを作文にしてもらいました。新しい年を迎え、心新たになりたい自分に向けて、努力ができるといいですね。1年生は残すところあと3か月になりました。今のクラスの仲間と過ごす時間もあと少しですが、3学期はスキー教室もありますし、めりはりをつけながら楽しんでいきましょう。E組とC組の作文を紹介します。

<敬称略>

## 時間の大切さ

E組

私は、テスト勉強や学校へ向かう時に時間に追われることがよくある。テストでは、解ける問題に追いつかず時間が来てしまったりしてプリントの裏が全くできなかつたりしたことが何回かあった。登校する時もぎりぎりになって走ったりすることもあり、時間に余裕をもてなかった。時間には限りがあり、ずっとあるわけではないので、時間を意識して行動することで、時間に余裕をもてるようにしようと思う。

ことわざの中に、「光陰矢の如し」という言葉がある。意味は、月日が過ぎていくのは、飛ぶ矢のように早いということで、私は中学生になってからそれを実感した。一日が過ぎていくのがとても早く感じられた。そんな中でもう二年生になる。中学一年生の時期も残りわずかだ。少しでも思い出を残しておきたい。時間を大切にして、中学1年生としての思い出をたくさん作りたいと思う。

2024年になった今、私は「時間を意識して行動し、大切に作る」を信念の抱負にしたいと思う。

また、私は1年生としての残りの時間で少しでも「ひばり中生」に近づこうと思う。今を二年生になる前の準備期間だと思うことにし、短い準備期間を最大限活用したい。

## 新年の抱負

E組

僕は今年頑張りたいことが二つあります。

一つは、勉強です。もう少しで学年末テストがあります。テストの結果で2年生になった時、後悔しないようにしっかり勉強したいです。そして2年生になると今までよりも内容が難しくなると思うので、そこで遅れをとらないように今のうちに勉強時間を増やして力をつけたいです。

もう一つは、1年生のお手本になれるような2年生になることです。あと3か月で2年生になります。そして新しく1年生も入学します。そこで1年生に、だらしない姿を見せてしまうと、お手本にはなりません。1年生が2年生の姿を見て、ひばり中で頑張っていきたい、2年生をまねしたいと思えるように

したいです。だからこそ、2年生になってからの生活の仕方重大だし、今2年生になる前に生活を見直したい。1年生のお手本になれるようにしたいです。

この二つが僕の今年頑張りたいことです。この二つの共通しているところは、「2年生」というところ です。今まで自分がしっかりしたひばり中生になれることを考えていましたが、今年は1年生にお手本を見せるという「責任」もあります。だから今年はしっかりと2年生を目指したいです。

## 僕の新年の目標

C組

僕の新年の目標は努力を怠らないことです。

僕が努力が大切だと思ったのは、2学期のテストの時です。あの時は1学期よりも点数が大きく落ちてしまいました。この時僕は思いました。なぜこんなにも点数が落ちてしまったのだろう、と。単純にテストのレベルが上がったのもありますが、それ以外にも何か原因があると思いました。それは、自分に満足していたということです。1学期のテストはどんなに難しいのだろうと思ってとても勉強していました。しかし、2学期になると気が緩んでいると言われました。そこで気づきました。自分がそう思っていないだけで実際は気持ちが緩んでいるのだと感じました。そこで努力を怠らないという目標を立てました。この目標には今の自分に満足せず、「もっとがんばらないと」と自分を甘やかさないようにして、悔いのない点数や結果が得られるようにするためにこの目標にしました。

今までのように甘える心を持つのではなく、やると決めたらそれ以上を達成する気持ちで物事に取り組みたいです。決めた目標を目指すのではなく、それ以上を目指せば自分を甘やかすことなく取り組めると思っています。今は1年生の3学期であり、2年生の0学期でもあります。学習面だけではなく、あいさつ、礼儀、話の聞き方などこれから先輩になるにあたって恥ずかしくない生活をしていきたいです。

## 自分ができること

C組

私は2024年は自分でできることは自分で成し遂げる、ということをごんぱりしたいです。

1学期と2学期、私は配膳の仕事をやらなかったり、委員会で先生の話をお聞かず、後で友達に頼りきりになってしまったりすることがありました。「こんな自分ダメだな」と思いつつも、先生や友達に自分のミスをお謝りに行くと、優しく許してくれることに甘えておりました。しかし、私が何かをさぼることで、先生や友達に困った思いをさせてしまっていることに気が付きました。例えば私が配膳の仕事を忘れることで、他の誰かが二度も重い食缶やお皿を運ばなくてはいけなくなります。私が先生のお話を聞いておらず、友達が教えてくれる時間で、その友達は自分の作業を進めることができたと思おいます。私は自分自身のことばかりで、他の人の気持ちを考えておいませんでした。もちろんお互い助け合ったり、人に頼ることも大切だと思おいます。しかし、1年C組の一員として、ひばりが丘中学校の一生徒として、自分でおできることはやっていきたいですし、友達や先生に迷惑をおかけないよう、気を引き締めていきたいです。

私は2024年は、自分の仕事に責任をもち、物事を成し遂げられるようになります。自分のことは自分でやり、時には誰かを勇気づけて、助けられるような行動をして、カッコいいひばり中生にまた一歩近づきたいです。